



はじめのいっぽ

学年だより
三島市立長伏小学校
1年部
H30.10.5 №19

1学期が終わり、3連休をはさんで、いよいよ2学期が始まります。1学期の『学校生活のあらわれ』をお子さんと一緒に御覧になりながら、2学期の課題を明確にし、新たな気持ちでスタートしてほしいと思います。今後とも御支援、御協力をお願いいたします。

10月の予定

9/30 (日)	1(月)	2(火)	3(水)	4(木)	5(金)	6(土)
					終業式 学校諸会費 引落日	
7	8	9	10	11	12	13
体育の日 2学期始業式 月曜時間割 スクールカウ ンセラー来校 下校 13:40	音楽会 壮行会(朝)	校外学習 (箱根やすら ぎの森)	ジンタ号が来 校しますが、校 外学習のため 返却できませ ん。			
14	15	16	17	18	19	
	特別日課 4時間 下校 12:50	市内音楽会 (4年生)	参観、懇談会			
21	22	23	24	25	26	27
読書旬間 (11/2まで)	スクールカウ ンセラー来校					
28	29	30				
巡回音楽会 (13:30~)						

※10月9日の予定から、子どもが
自分で計画帳に予定を書きます。
計画帳を御覧ください。



学校生活のあらわれについて(1学期)

「学習のあらわれ」について

☆どの教科にも「関心・意欲・態度」の観点があり、主体的に学習に取り組む態度について評価しています。

<国語>

◎話す・聞く能力…みんなの前で話すことができるとともに、話を最後まで聞くことができる。

※新しいことを学習していくときには、まず話をしっかりと聞き取ることができなければ、それを理解したり、身に付けたりしていくことはできません。
とても大事なところです。

◎書く能力…主語、述語を使って短い文(2~3文)を書くことができる。

◎読む能力…書いてある内容を理解することができる。

◎言語についての知識・理解・技能…ひらがな(五十音)、既習のカタカナ、漢字を正しく書くことができる。

<算数>

◎例えば10ページの本があります。今日6ページ読みました。まだ読んでいないのは何ページでしょう

と出題されたとき、「のこり」や「ちがい」という言葉がないけれども、ひき算の場面であると考えることができる → 10-6と式を立てができる力が「数学的な考え方」の部分であり、4という答えが出せる力が「数量や図形についての技能」となります。

また、「なんばんめ」の学習の中では「前から3つ」と「前から3つめ」の違いがわかることが「数量や図形についての知識・理解」という観点になります。

<生活>

◎アサガオや身近な人や生き物にいかに関わって気付きが生まれたり、活動を楽しむことができたか。

<音楽>

◎曲に合わせて楽しく歌ったり、曲の気分を感じとって身体表現したり、リズム打ちが正しくできたか。

☆「あらわれ」の評価欄は3段階になっていますが、1年生のこの時期は発達段階的にまだ未分化の部分も多く、3段階での評価の難しいものが多々あります。そこで1学期はめあてについて「よい」「もう少し」の2段階で評価してあります。

「行動のあらわれ」について

◎基本的な生活習慣やよりよく生きようとする力などが、どの程度身に付いているかを評価するため、「文部科学省から示されている10の項目」について、6年間の成長の様子を追っていくことができるようになります。入門期であり、どのような行動をとるべきかを、日々の生活の中で学んでいる1年生にとっては、まだまだ評価しにくい項目もありますが、「行動のあらわれ」は社会生活の基礎となる部分です。

めあてに十分達しているものに○印がついていますが、「行動のあらわれ」は、「学習のあらわれ」以上に“1人の人として大事な部分である”という見方でみてあげてください。(1学期は、○は一つか二つです。)